

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 景気ウォッチャー調査(2008年1月)
 ~下げ止まらず~

発表日 2008年2月8日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 主任エコノミスト 新家 義貴
 TEL : 03-5221-4528

原数値	景気の現状判断(方向性)				景気の先行き判断(方向性)				景気の現状判断(水準)				
	合計	家計動向 関連	企業動向 関連	雇用関連	合計	家計動向 関連	企業動向 関連	雇用関連	合計	家計動向 関連	企業動向 関連	雇用関連	
07年	1	47.2	45.7	47.3	56.3	50.9	50.6	49.8	55.1	44.4	41.3	47.1	58.3
	2	49.2	47.9	49.8	55.9	52.1	52.3	49.6	55.9	46.8	44.1	49.8	57.4
	3	50.8	49.9	50.9	56.3	51.3	51.6	47.9	56.6	47.8	45.2	50.1	59.2
	4	49.7	48.2	50.4	57.1	51.9	51.4	50.7	57.2	46.8	44.1	49.7	57.9
	5	46.8	46.4	45.9	50.7	50.0	50.0	47.7	55.0	44.0	42.3	44.7	53.4
	6	46.0	45.1	46.2	51.2	48.4	47.9	48.6	50.9	43.9	41.9	46.3	52.0
	7	44.7	42.8	47.4	51.2	46.7	46.0	46.3	52.0	41.5	38.4	45.7	52.0
	8	44.1	43.7	43.1	48.3	46.5	46.1	46.3	49.7	42.1	40.7	43.3	49.1
	9	42.9	41.7	43.5	48.8	46.0	45.8	44.9	49.6	40.2	37.8	43.5	49.1
	10	41.5	41.3	41.0	43.8	43.1	42.8	42.1	46.6	39.8	37.5	43.4	47.4
	11	38.8	38.4	38.8	41.9	38.8	38.4	37.9	43.1	38.4	36.8	40.6	44.4
	12	36.6	36.5	36.5	37.5	37.0	36.4	37.5	39.7	36.4	35.1	38.6	39.7
08年	1	31.8	31.5	31.7	34.1	35.8	35.5	36.1	37.5	31.5	30.3	32.7	37.1

前年差

07年	1	▲ 4.9	▲ 4.8	▲ 4.7	▲ 6.6	▲ 5.5	▲ 5.3	▲ 5.7	▲ 6.9	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 3.3	▲ 2.0
	2	▲ 4.3	▲ 3.7	▲ 5.3	▲ 6.5	▲ 4.5	▲ 4.0	▲ 6.1	▲ 5.1	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 2.5	▲ 3.6
	3	▲ 6.5	▲ 6.1	▲ 6.6	▲ 9.2	▲ 4.9	▲ 4.6	▲ 6.1	▲ 4.7	▲ 5.6	▲ 6.3	▲ 3.8	▲ 5.6
	4	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 4.3	▲ 7.3	▲ 3.1	▲ 3.4	▲ 2.8	▲ 1.9	▲ 3.8	▲ 4.0	▲ 3.2	▲ 3.9
	5	▲ 4.7	▲ 4.2	▲ 4.7	▲ 8.9	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 4.3	▲ 3.4	▲ 4.2	▲ 3.6	▲ 5.2	▲ 6.0
	6	▲ 3.1	▲ 2.2	▲ 3.9	▲ 7.0	▲ 3.4	▲ 3.4	▲ 2.1	▲ 6.5	▲ 2.4	▲ 1.6	▲ 2.4	▲ 7.3
	7	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 2.7	▲ 6.0	▲ 3.1	▲ 3.0	▲ 2.5	▲ 5.0	▲ 3.7	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 5.8
	8	▲ 6.1	▲ 5.4	▲ 6.0	▲ 11.5	▲ 5.0	▲ 4.9	▲ 3.6	▲ 8.7	▲ 5.2	▲ 4.6	▲ 4.3	▲ 10.3
	9	▲ 8.1	▲ 7.5	▲ 7.7	▲ 12.4	▲ 6.8	▲ 6.7	▲ 6.3	▲ 8.4	▲ 7.4	▲ 7.0	▲ 6.4	▲ 11.8
	10	▲ 9.3	▲ 7.8	▲ 10.2	▲ 16.8	▲ 9.4	▲ 9.1	▲ 9.2	▲ 12.7	▲ 8.0	▲ 7.4	▲ 7.0	▲ 13.8
	11	▲ 10.1	▲ 9.1	▲ 10.8	▲ 14.1	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 10.2	▲ 13.1	▲ 8.0	▲ 6.5	▲ 9.1	▲ 14.6
	12	▲ 12.3	▲ 11.1	▲ 13.7	▲ 17.0	▲ 11.9	▲ 11.5	▲ 12.3	▲ 13.6	▲ 10.0	▲ 8.6	▲ 11.5	▲ 16.3
08年	1	▲ 15.4	▲ 14.2	▲ 15.6	▲ 22.2	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 13.7	▲ 17.6	▲ 12.9	▲ 11.0	▲ 14.4	▲ 21.2

(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

季節調整値	景気の現状判断(方向性)								
	DI				前月差				
	家計動向 関連	企業動向 関連	雇用関連		家計動向 関連	企業動向 関連	雇用関連		
07年	1	49.0	47.4	50.5	57.6	-1.4	-1.5	-0.3	0.6
	2	49.5	48.2	50.1	56.6	0.5	0.8	-0.4	-1.0
	3	47.9	46.7	48.4	54.7	-1.6	-1.5	-1.7	-1.9
	4	47.4	45.7	48.0	54.6	-0.5	-1.0	-0.4	-0.1
	5	46.2	45.2	45.9	52.2	-1.1	-0.5	-2.1	-2.3
	6	46.1	45.0	46.6	52.0	-0.1	-0.2	0.7	-0.2
	7	45.2	43.9	46.7	50.9	-0.9	-1.1	0.1	-1.1
	8	44.2	43.7	43.8	48.0	-1.0	-0.2	-2.9	-3.0
	9	43.0	42.3	43.2	46.8	-1.1	-1.4	-0.7	-1.2
	10	42.0	42.0	41.3	43.4	-1.0	-0.3	-1.9	-3.4
	11	39.6	39.3	39.3	42.7	-2.4	-2.8	-1.9	-0.7
	12	37.6	37.5	36.7	39.1	-2.0	-1.8	-2.6	-3.6
08年	1	33.0	32.7	33.8	34.9	-4.6	-4.8	-2.9	-4.2

(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」より第一生命経済研究所試算

○ 大幅な低下が続く

1月の景気ウォッチャー調査は、現状判断D I（方向性）が31.8と前月から▲4.8ポイントの大幅悪化となり、10ヵ月連続で50を下回った。2001年12月以来の低水準である。また、先行き判断D Iも35.8と前月から▲1.2ポイント低下している。なお、季節性を排除するために季節調整をかけた場合には、現状判断D Iは全体で33.0（12月37.6）、家計動向関連が32.7（12月37.5）、企業動向関連が33.8（12月36.7）、雇用関連が34.9（12月39.1）となる。現状判断、先行き判断とも低下幅が大きい上、ほとんどの分野で悪化するなど、かなり弱めの結果である。景気ウォッチャー調査は元々2007年入り頃から弱めの動きが続いていたが、特にここ数ヶ月間の落ち込み度合いは急激だ。原材料価格の高騰、住宅着工の減少、生活必需品価格の上昇、株安などが景況感を大きく下押ししている。

○ 原材料価格の高騰等を背景に、企業部門、家計部門とも悪化

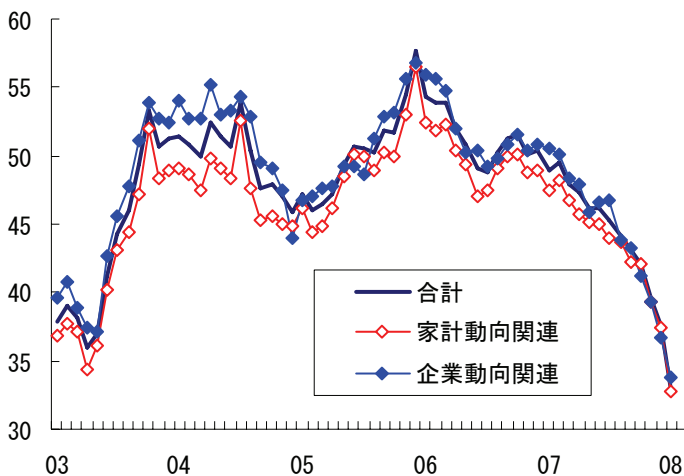
企業動向関連では、製造業、非製造業とも大幅に悪化した。外部環境が厳しくなるなかでは十分な価格転嫁は容易でなく、原材料価格高騰の影響が収益面で下押し要因になっているとのコメントが非常に多い。

また、住宅部門の悪化についてのコメントも依然として多い。受注の急減や建材需要の大幅な落ち込みなどが指摘されており、影響は深刻である。なお、住宅関連のD Iは12月には小幅上昇となっていたが、今月再び低下したことは気がかりだ。住宅着工戸数は2007年9月をボトムに持ち直しつつあるが、水準が極めて低いままであることに加え、家計の住宅取得マインド自体が冷え込んでいることが影響しているようだ。

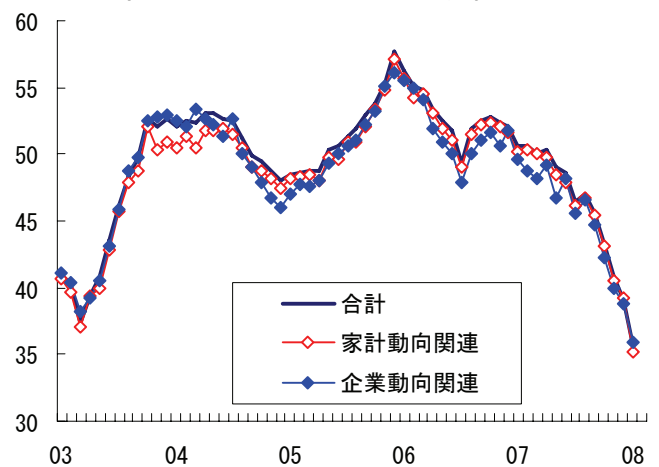
家計動向関連も低下が続いた。販売が比較的好調だった自動車関連を除いて、財関連、サービス関連とも軒並み大幅に悪化している。ガソリンや灯油、食料品、身の回り品などの価格上昇が販売不振を招いている状況に変化はみられない。消費者の低価格志向は一段と強まっており、セールを待っての購入など、少しでも安いものを買うという行動が増えているようだ。1月の個人消費が低調に終わった可能性を示唆する結果である。雇用動向関連D Iが悪化を続けていることも合わせ、個人消費にとってはかなりの逆風が吹いている。

もともと、景気ウォッチャー調査の結果は、近年、実際の個人消費動向と比べてかなり下振れて推移する傾向がみられる。実際にはそこまで1月の個人消費が悪化していない可能性が十分あることには注意しておく必要があるだろう。

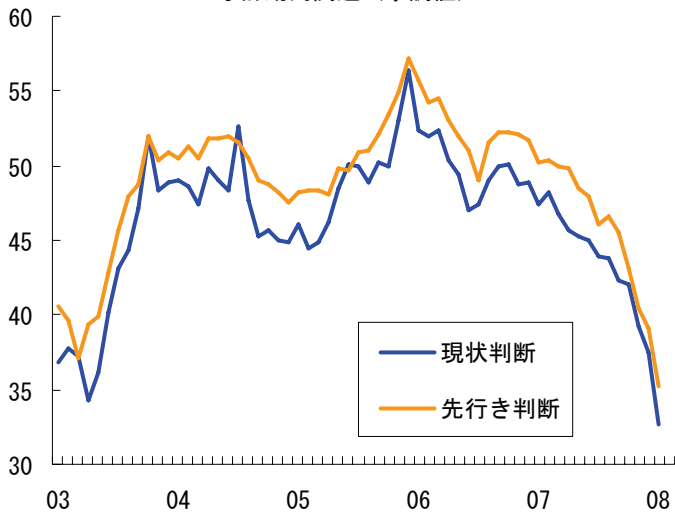
景気現状判断D I（方向性、季調値）



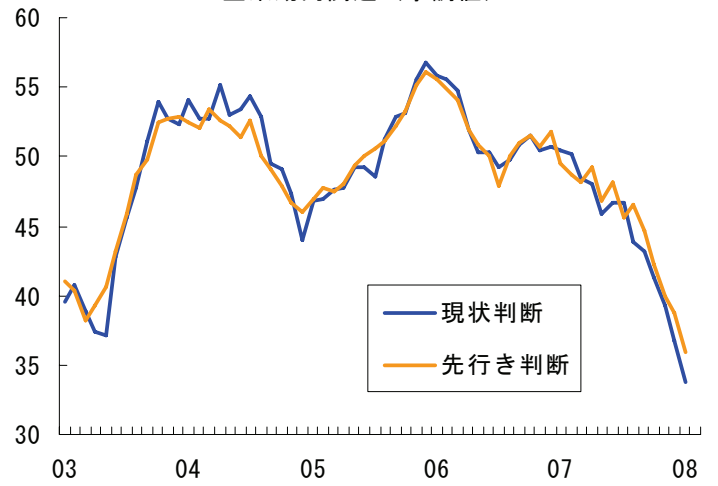
景気先行き判断D I（方向性、季調値）



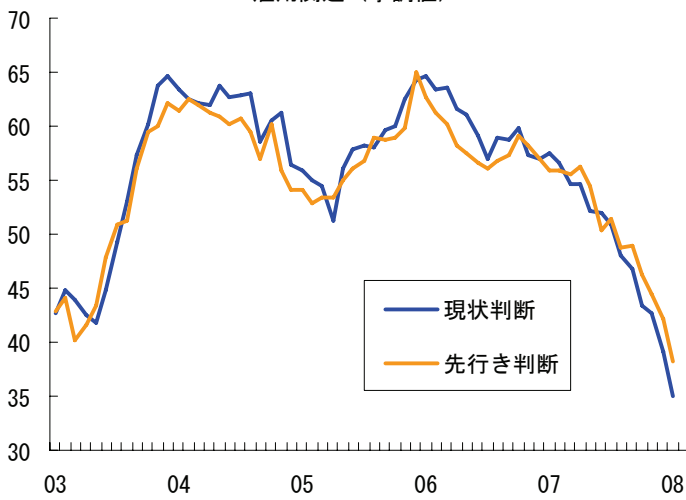
家計動向関連（季調値）



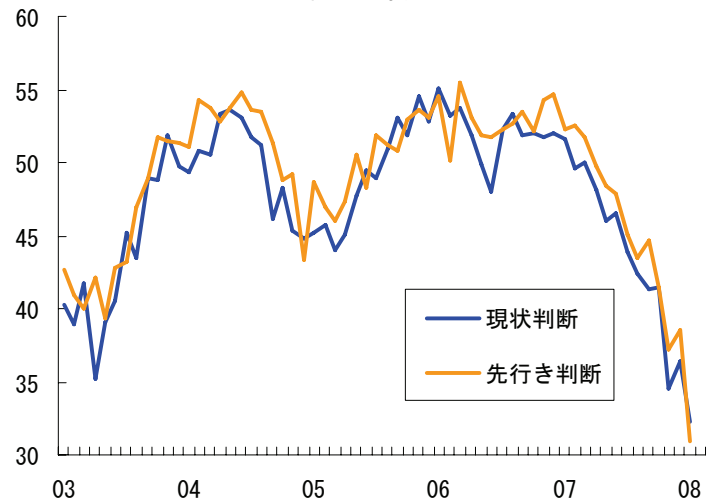
企業動向関連（季調値）



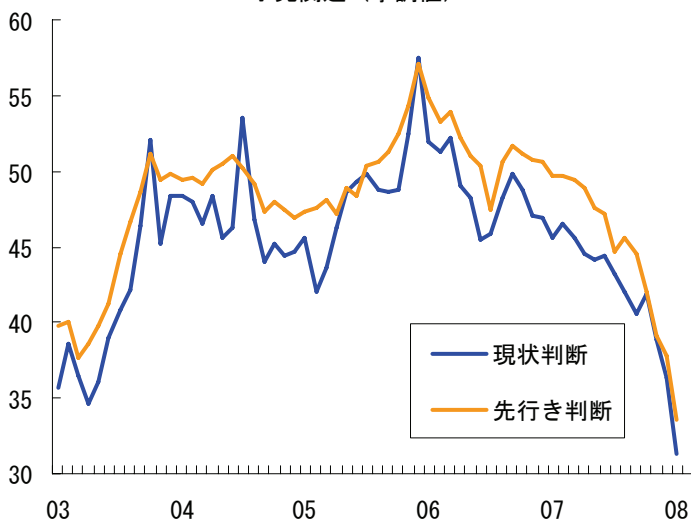
雇用関連（季調値）



住宅関連（季調値）



小売関連（季調値）



サービス関連（季調値）

